

予算額	5,183,080 円
-----	-------------

## トップアスリートによる巡回指導

巡回指導先団体総数	2 団体			
巡回指導先団体内訳	総合型クラブ	スポーツ少年団	学校	その他
	団体	団体	1 団体	1 団体

トップアスリート総数	2 名			
トップアスリートの内訳 (大会出場別)	オリンピック	国際大会	全国大会	その他
	名	名	1 名	1 名

アシスタントコーチ総数	2 名
-------------	-----

指導種目	サッカー
------	------

## ◆効果を高めるための工夫や取組など

- ・ 毎回、トップアスリート・アシスタント・巡回先担当者と綿密なミーティングを実施し、指導に活かした。
- ・ いかに参加者にインパクトを与えられるか、トップアスリートのデモンストレーションを多用した。
- ・ 参加者のモチベーションが高まるような指導法を心がけた。
- ・ 巡回先団体は「トップアスリートによる定期指導」をPRして、参加者を募った。
- ・ 同一団体に対して1週間に2回の指導を心がけ、長期的視野のもとに指導を行った。

## ◆成果と課題

## 〔成果〕

- ・ トップアスリートが直接指導し、見本を見せることにより、参加者に非常に大きなインパクトを与えることができた。具体的には、参加者数の増加、参加者のモチベーションがアップ、そして、プレーレベルの向上につなげることができた。
- ・ 単発のイベント的内容ではなく、継続的な指導法を導入できたことにより、深く掘り下げた指導をすることができた。

## 〔課題〕

- ・ 悪天候や中学のテスト期間により活動できない場合の振り替えに苦慮した。特に、巡回先とトップアスリートとの日程調整には時間を要した。

地域課題解決に向けた取組

1	取組の名称	ふれあい親子サッカー				
	趣旨・目的	親子で一緒にサッカーをすることにより、家庭内コミュニケーションを促進する。日頃子どもたちがいかに難しいことにチャレンジしているのかを、大人に体験させる。				
	内容	*各学年ごとにコートを作り、それぞれ子供vs.大人でサッカーの試合を実施				
	対象者	地域の幼児・小学生及びその家族	参加人数/回	500	実施回数	1
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>きれいなグラウンドで実施することにより、参加者を増やす。</li> <li>クリスマスに絡め、終了後にプレゼント交換を行う。</li> <li>盛り上げるために、指導者も加わってデモンストレーションを披露。</li> </ul>				
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工芝のきれいなグラウンドでの開催であったため、大人も子どもも汚れを気にしないで元気にプレーすることができた。</li> <li>親子の楽しそうな笑顔がたくさん見られた。</li> </ul>				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもに比べ、大人の体力が持たないために時間配分が難しかったり、大人相手の試合ばかりだと、子どもたちにとってストレスになる、高学年の親の集まりが悪いなどの課題が見られた。</li> </ul>				

2	取組の名称	小学生学年対抗保護者フットサル大会				
	趣旨・目的	地域在住小学生保護者のフットサル大会 日頃、子どもたちのプレーを観戦する・応援することだけでなく、自身でプレーすることにより、スポーツを楽しむ機会を提供する。 特に女性でもプレーしやすくするために、フットサルを行う。また、男女混成にすることにより、より一層親睦を深めることを目的とする。				
	内容	*小学生の保護者(男女混合チーム)によるフットサル大会				
	対象者	地域在住小学生保護者	参加人数/回	100	実施回数	1
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>3面を確保し、試合では2面を使用。1面はフリースペースとして子供たちに開放。</li> <li>女性のサッカー経験者をゲストとして招待し、プレーさせる。</li> </ul>				
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>きれいなグラウンドで楽しくプレーできた。</li> <li>チームプレーによる結束を感じていただけた。</li> <li>特に女性に、フットサルのおもしろさを理解していただけた。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>この楽しかった思い出を、今後クラブの定期プログラムにどのように反映させるべきか、施設利用料が高額なため、その費用をどうやって捻出するのも考える必要がある。</li> </ul>					

取組の名称	かながわフェスティバル				
趣旨・目的	多世代型クラブを地域住民に体験いただき、その魅力を感じていただく。 将来的には、本クラブを中心としたスポーツコミュニティが拡大される。				
内容	幼児から壮年を縦割りにしたチームをたくさん作り、大会形式で試合を行う。				
対象者	幼児から壮年の地域住民	参加人数/回	320	実施回数	1
3 効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦割りによるチーム編成により、本クラブTopの選手がそれぞれのチームをまとめる。</li> <li>同様にPapap(壮年)やYouth(高校生)が監督のアシスタントとして各チームを盛り上げる。</li> <li>結果、他世代型のクラブであることの楽しさを、参加者に体験していただける。</li> <li>各カテゴリーから1名ずつMIPを選んで表彰</li> <li>全員から1名MVPを選んで表彰</li> </ul>				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じチームに、多世代の選手が所属することにより、世代を超えたコミュニケーションが頻繁に行われた。</li> <li>多世代型のクラブの素晴らしさを実感していただけた。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>体格差や体力差、習熟度などにより全員にプレーの満足感を与えることが難しい。</li> <li>雨天の場合の代替え案が難しい。</li> </ul>				

取組の名称	オープンPapap Day				
趣旨・目的	地域の父親達に運動の機会(サッカー)を提供する。				
内容	壮年サッカーのカテゴリーである「Papap」				
対象者	成人男子	参加人数/回	200	実施回数	4回
4 効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>フルコートを使っでの試合形式で行うことにより、サッカー本来の面白さを知ってもらう。</li> <li>いい環境で行うことにより、参加者を増やす。</li> </ul>				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>きれいな環境で活動することにより、参加したい気持ちを引き出すことができた。</li> <li>基本は早朝であったために、終了後に家族と過ごすことが可能となり、健康的な生活リズムを作ることに貢献できた。</li> <li>壮年世代に、家庭・職場以外の自分の居場所を提供することができた。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設側の手違いにより、夕方以降の活動になったこともあり、効果が半減してしまった感は否めない。</li> </ul>				

## 本事業全体の成果と課題

### 〔成果〕

- トップアスリートを活用することができ、彼らにセカンドキャリアを形成する手助けができたと思うが、本人たちがしっかりとしたビジョンを持ち、長期計画のもとにこの事業を利用することができればいいと思う。
- 小学校の体育コーディネーターとあわせ、現役引退後に教員を志望するにはとてもいい仕組みであると思われる。
- 横浜市のスポーツ振興課や教育委員会、体育協会との相互協力関係もしっかり構築されてきている。

### 〔課題〕

- 事業の委託先を決定する時期や契約期間の問題により、長期計画のもとに活動することが難しい。
- 最近まで、トップアスリートだった者が、すぐに気持ちを切り替えて第2の人生設計をするには、1年はあまりにも短すぎる。